



新たな価値提供によるモビリティ社会の発展



ビスを提供することで、モビリティプラットフォームへ進化してまいります。

また、車両にまつわるコスト削減と業務効率化につながるソリューション提案を行っています。具体的にはリース車を増やすだけでなく、お客さまにとって最適な車両保有台数となるようなご提案や、社用車の稼働率向上に寄与するカーシェアや繁忙期のレンタカー手配などを容易に組み合わせて利用できるご提案等、ソリューション開発を行っています。

さらに、安心・安全な社会の実現に向け、安全装置付き車両などの導入を積極的に促進することに加え、当社が長きにわたり培ってきた事故削減へ向けたプログラムを進化させ、新たなソリューションとして提供します。

※1 4つの技術トレンド「Connected (つながる)」「Autonomous (自律走行)」「Shared&Services (共有)」「Electric (電動化)」の総称

※2 「Mobility as a Service (モビリティ・アズ・ア・サービス)」。鉄道・バス・タクシー・旅客船・旅客機・カーシェア・シェアサイクルなど複数の交通機関を一つのサービスとして結び付け、人々の移動を大きく変える概念

マテリアリティへの想い

当社は、100年に一度と言われる自動車業界の大変革期に、目まぐるしく変容するモビリティ市場において、お客さまに新たな価値と進化するサービスを提供し続けることで、モビリティ社会の発展を目指します。

取り組みの方向性

モビリティプラットフォームへの進化

当社は、自動車業界における次世代トレンド「CASE※1」「MaaS※2」を、当社の事業基盤と融合させ、オートリースという枠にとらわれない新たな価値と進化するサー

KPIと実績

安心・安全な社会の実現に向け、当社のお客さま企業による事故の削減に向けた目標を設定しています。

●中長期目標

	単位	2021年度	2022年度	2023年度	中長期目標 (2030年度)
重大交通事故 (死亡事故)	件	5	7	1	0

新たな価値提供によるモビリティ社会の発展



モビリティ戦略

SMASを取り巻く外部環境

近年、コネクテッド化や電動化の進展とともに、モビリティの果たすべき役割が「所有」から「使用」へと変化しており、カーシェアリングやライドシェアリングなどの新たなモビリティサービスが増えています。さらには、移動をシームレスにつなぎ、自由度を高めることで、新たな仕事場や交流の場を提供するなど、モビリティの可能性は大きく広がっています。

また企業では、ITやAIなどのデジタル技術の進化により、従来、紙媒体で行われていた業務のデジタル化や、新たな情報の収集・分析が可能となり、車両の運用や管理の効率化が一層進んでいます。このような中で当社は、モビリティプラットフォームへの進化を目指し、ソリューション開発を行ってまいります。

SMASの現状と課題

当社は、お客さまに「新たな価値」を提供するため、オートリースという枠にとどまらず、車両管理に関するあらゆる課題の解決を目指し、多様なニーズや内外の環境変化に対応する提案を行ってきました。

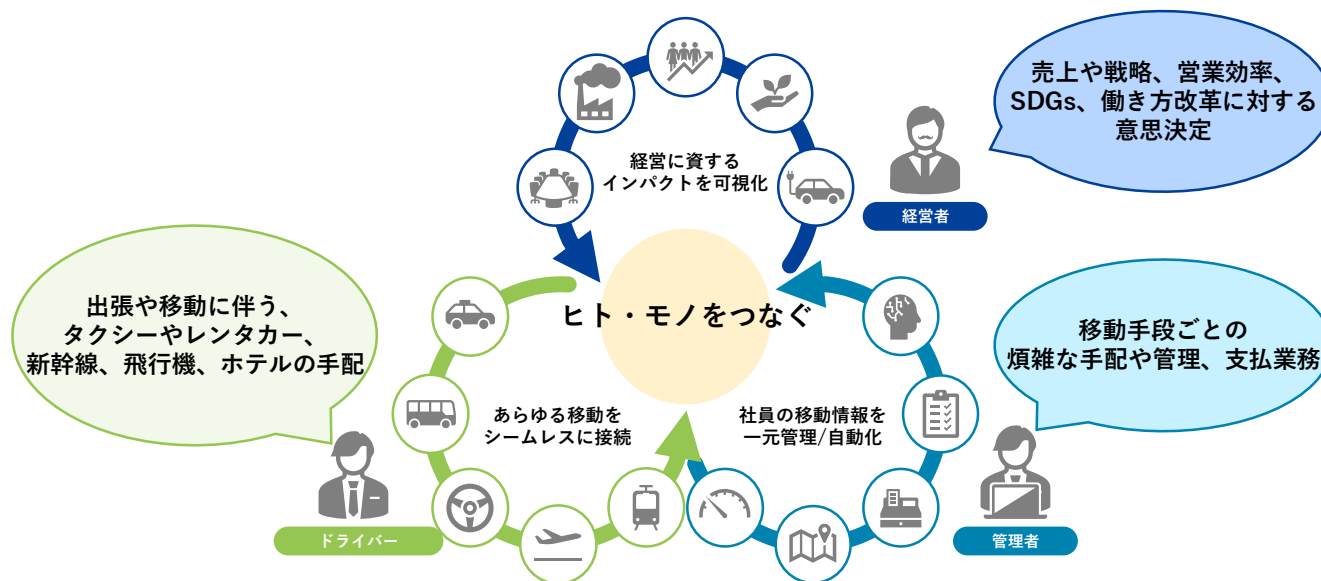
今までは「クルマをどのように効率的に使うか」「安全に使えるか」といった、クルマを主語とした戦略を展開していましたが、時代のニーズに即した進化も必要と考えます。

モビリティプラットフォームへの進化を目指して

近年では一層の進化を目指し、下図のように「ヒトとモノ」の両方に焦点を置き、持続可能な社会を目指した戦略展開を行っています。

さらに、クルマの利用に関する情報を価値に変え、ドライバーや管理者にとってもっと効率の良い移動や管理方法を実現させるとともに、売上や戦略、働き方改革といった、経営に資するサービス展開も検討しています。

これからも、未来に向かうお客さまのニーズを見据え、いち早く新しい商品・サービスをお届けできるよう、私たち自身が変化しなければならないという強い意識の下、オートサービスからモビリティサービスへのさらなる進化を目指してまいります。



新たな価値提供によるモビリティ社会の発展



主な取り組み

Mobility Passport

当社が開発し、当社の100%子会社であるSMAサポート株式会社が提供している「Mobility Passport」は、多様化するモビリティに対応するビジネスMaaSアプリです。ドライバー機能として、社用車の予約、アルコールチェックの実施記録や運転日報の作成・申請等、乗車前後の作業を一つのアプリで完結できます。また、管理者機能として、運転日報の承認・管理、社用車の稼働管理等、車両関連業務の改善機能を併せ持っています。社用車の空きがない場合も、アプリ内からレンタカーやカーシェアを予約・手配することができ、スムーズな移動体験の提供が可能です。

AI Travel・S.RIDE連携でシームレスな移動を実現！

Mobility Passportユーザーの移動における利便性をさらに向上させるため、株式会社トランスファーデータが提供する「AI Travel」およびS.RIDE株式会社が提供する「S.RIDE」と連携しました。

アプリからボタン一つで「AI Travel」に遷移することで、国内・海外のホテル・飛行機・新幹線をまとめて検索・予約することができます。また、同じように、「S.RIDE」ではビジネスシーンにおいて利用頻度の高いタクシーの手配が可能となります。

「Mobility Passport」は、今後もビジネスMaaSアプリとしてお客さまの移動におけるより多くの選択肢を提供してまいります。



新たな価値提供によるモビリティ社会の発展



アルコールチェック義務化への新たな価値提供

2022年の道路交通法改正により、自家用自動車（白ナンバー）車両を一定数以上扱う事業所にもアルコールチェックが義務化されました。全国に約35万カ所、約808万人の運転者が新たにその対象となり、多くの企業で管理方法の確立が急務となっています。

このような課題に対し、当社は「Mobility Passport」へアルコールチェック記録機能ならびに専用アルコール検知器との自動連携機能を追加する一方、記録と管理のみに機能を絞ったアプリ「ALnote」を新たな商品として提供しています。

「Mobility Passport」にアルコールチェック機能を追加

Mobility Passportにアルコールチェック機能を追加したことで、アルコールチェック義務化の対応に必要な8項目を記録することが可能になりました。アプリ内で日報データと突合させ、管理者はアルコールチェックの状況を確認できます。また、タニタ製FC-810との自動連携により、さらなる業務効率化とアルコールチェックの正確な記録管理を実現することが可能です。

ALnote（アルコールチェック記録管理）によるペーパーレス化

「ALnote」は、アルコールチェック義務化に特化したアプリです。まずはアルコールチェック義務化への対応から検討したいというお客さまに、紙などのアナログ管理からデータによるデジタル管理に切り替える第一歩として利用いただくことを目的としています。

シンプルな画面操作で、車両や社員登録、アルコールチェック結果の記録や管理などをスムーズに行えるため、記入漏れや紛失のリスクが回避できます。ALnoteはアルコールチェック結果記録と管理のみに機能を絞ることで、無料で提供を実現し、ALnoteを提供することにより、飲酒運転を防止し、安心・安全な車社会の発展とペーパーレス化による地球環境の向上に貢献してまいります。



※Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。

チェック・記録が必要な8項目

- 
確認者名
- 
運転者名
- 
**品川500
あ12-34**
**自動車登録番号
(または識別できる記号)**
- 
確認日時
- 
確認方法
- 
酒気帯びの有無
- 
指示項目
- 
その他必要事項

新たな価値提供によるモビリティ社会の発展



「SMAS-Mobility Portal」リリース

当社は、2023年10月、モビリティサービスをより便利に活用いただくことを目的に、「Mobility Passport」および「SMAS-Smart Connect」契約企業に無償で利用いただけるポータルサイト「SMAS-Mobility Portal」をリリースしました。

このサービスは、利用者の各システムへのログイン状況や社用車の稼働率、アルコールチェックの実施状況をダッシュボードから視覚的に把握できるサービスです。

特に、2022年の道路交通法改正により、多くの企業でアルコールチェックの管理方法の確立が急務となっている中、実施状況を視覚的に確認できる本ツールを通じて、法令遵守への対応実態を把握し、的確な指導につなげることに寄与しています。

今後はさらなるサービスとの連携を検討しており、車両管理者様の手をかけずとも、モビリティデータを活用した分析・レポート化サービスを提供することで、安心・安全な車社会の発展と業務の効率化に貢献してまいります。

● ダッシュボード例

ログイン状況



社用車の稼働率の推移



アルコールチェックの状況



新たな価値提供によるモビリティ社会の発展



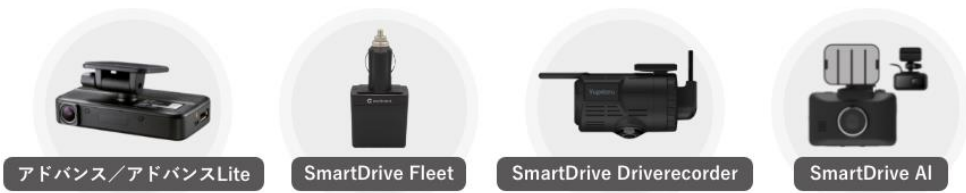
テレマティクスサービス「SMAS-Smart Connect (スマコネ)」の推進

2019年より、多様化する働き方やモビリティの変化に対応する安全運転支援型テレマティクスサービス※として、従来の運行管理・交通事故削減サポートに加え、車載器からのモビリティデータ（走行データ）を活用した新しいサービス「SMAS-Smart Connect」の提供を開始しています。モビリティデータを活用することで、きめ細かな運行管理はもちろん、社用車管理の高度化と運転特性に応じた安全運転支援をお客さまへ提供します。

※テレコミュニケーション（Telecommunication=通信）とインフォマティクス（Informatics=情報工学）から作られた造語で、移動体に携帯電話などの移動体通信システムを利用してサービスを提供することの総称。



※SMAS-Smart Connectはサービス総称であり、単体の機種名を指すものではありません。



ドライバーの安全意識継続を目的に「学びの機会」を定期的にお届けする「SMAS-Driver's Campus」をリリース

当社は、2023年10月、「ドライバーの安全」と「企業のリスク管理」をサポートする新時代のソリューションとして、「SMAS-Driver's Campus」をリリースしました。

このサービスは、すべてのドライバーに対する安全運転啓発および意識醸成、新入社員など業務運転経験の浅いドライバーの知識向上、事故発生者の運転行動振り返り、そして管理者がドライバーに指導を行うための情報収集を支援する教育動画配信・管理サービスです。企業が実施した指導教育は記録しておくことが望ましいと言われていますが、「SMAS-Driver's Campus」は教育をシステム化することで、ドライバーごとの受講進捗が可視化され、受講管理が容易になるなど、業務のDX化にもつながります。

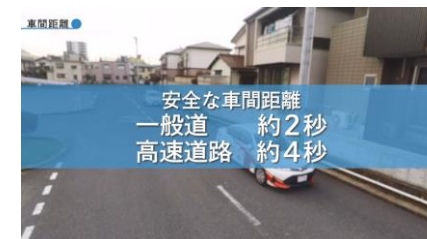
ドライバーに継続的に教育の機会を提供し、記録にも残すことができ、わかりやすいコンテンツで記憶にも残りやすいサービスとして、これからもソリューション開発を行ってまいります。

● 配信する動画の一例

社用車運転の責任とリスク



車間距離



遠心力



徐行



新たな価値提供によるモビリティ社会の発展



「SMAS-Mobility Data Insight (MDI)」に新たなメニューを追加

当社は、クルマを利用しているお客さまのサステナビリティ推進、生産性向上を目的としたサービスを提供しています。

MDIは当社が提供しているテレマティクス「SMAS-Smart Connect」搭載車両の運行データを基に、お客さまが必要とされる専門性の高い分析レポートを提供するサービスです。

この度、「EV導入」「生産性向上」「サステナビリティ推進」「安全運転診断」の4つのメニューに加え、新たに「法令遵守強化」メニューを追加しました。このメニューでは、アルコールチェックの実施状況、法定速度の遵守状況、また危険挙動等により検知された事象の発生頻度も可視化することができます。

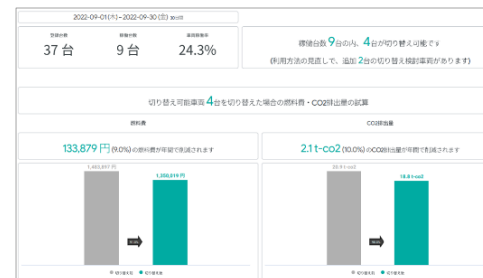
MDIを利用することで、面倒な集計やデータ分析が不要となります。目的に応じて、確認したい期間や対象範囲を選択するだけで、必要な情報を入手することができます。ダッシュボードとして表示することができます。

※一部排出量が計算できない車両があります。

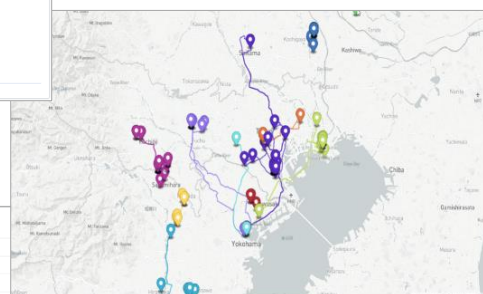


●SMAS-Mobility Data Insightが提供する5つのメニュー

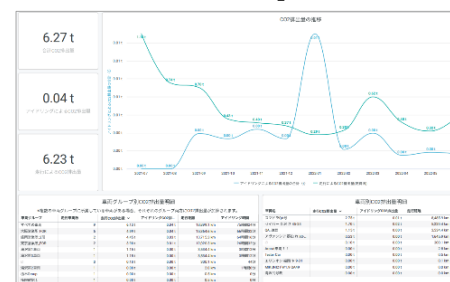
EV導入 (EV導入台数の可視化)



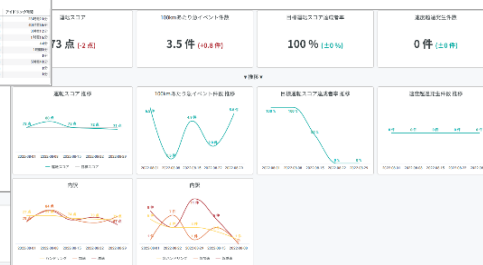
生産性向上 (訪問エリアの可視化)



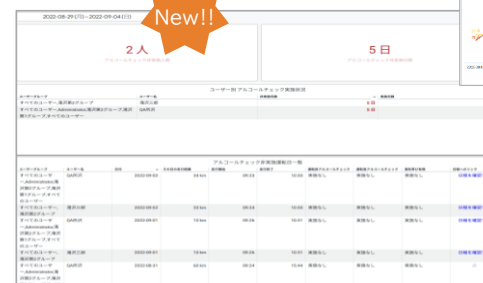
サステナビリティ推進 (CO2排出量推移)



安全運転診断



法令遵守強化



新たな価値提供によるモビリティ社会の発展



交通事故削減コンサルティングに注力

当社は、1998年に安全運転の啓発と自動車交通事故削減を担う専門部署として、現在の RMS (リスクマネジメントソリューション) 部を設立しました。以来、お客さま企業の交通事故ゼロを目指し、サポートを続けています。

具体的には、お客さまの抱える問題を可視化し、その原因を特定した上で、最適な改善プランの提案により、目標達成に向けた活動の推進をサポートします。

・安全運転管理体制構築のサポート

多くの企業は、交通事故削減を経営課題の一つとして掲げています。当社はその取り組みを推進できるよう、お客さまの管理体制づくりをサポートします。

・安全運転教育体制構築のサポート

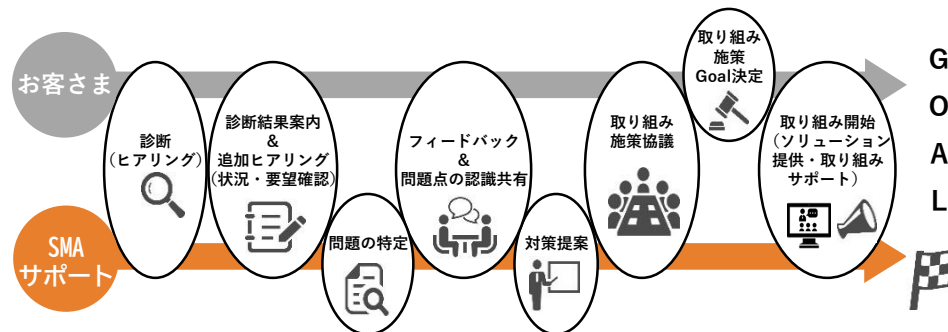
安全運転講習会や提携自動車教習所で行う実車を用いた運転実技研修「ADST」、e-ラーニングなど、当社が提供するサービスで年間活動計画をプランニングし、お客さまの安全運転教育体制を整え、事故ゼロを目指した活動をサポートします。

なお、安全運転講習会については、オンデマンド配信型コンテンツも充実しており、安全運転教育のDX化を推進しています。

コンサルティングの流れ

- ・ヒアリングによる問題の可視化
- ・可視化された問題の原因特定に向けた分析
- ・改善プランの策定および目標設定サポート
(プラン：活動内容、取り組み期間、実施スケジュールなど)
- ・プランに基づくお客さま主体の取り組み推進
- ・効果検証による新たな課題の抽出および追加のご提案

●取り組みサポート開始までの流れ (イメージ)



※グループ会社であるSMAサポートよりご提供します。

●ソリューションラインナップ

運転実技研修

ADST



実車を用いた実技研修

安全運転教育 定期配信サービス

SMAS-Driver's Campus



教育コンテンツの配信

安全運転講習会



座学形式の安全運転教育

e-ラーニング



電子媒体の安全運転教育

適性診断



診断用ツールで特性把握

メールマガジン 人とクルマの笑顔通信



安全運転情報の定期配信

事故データ集計・分類 事故分析レポート



事故データの集計情報配布
※保険契約必須

新たな価値提供によるモビリティ社会の発展



モビリティサービスの導入～利用定着まで、カスタマーサクセスがサポート

当社は、各種モビリティサービス※の導入検討および導入後の運用定着に不安を感じているお客さまに対し、専門部隊であるカスタマーサクセスのサポート体制を敷いています。

カスタマーサクセスのプランを利用いただくと、サービスの利用定着におけるステップの理解に役立て、お客さまの社内に向けた利用説明会の実施、利用中の定期的なフィードバック面談など、さまざまなサポートを受けることができます。

日々進化するモビリティサービスを提供する当社として、「導入して終わり」ではなく、運用開始後も継続的にサポートさせていただくことで、お客さまの目指していることがより早く実現できるよう、これからも貢献してまいります。

※対象サービス：Mobility Passport・SMAS-Smart Connect



ご利用者さまの声

株式会社タクマ



「導入して終わり」にならないようにしっかりサポートしていただきました。このサポートのおかげで、社内に対してもしっかりと周知して、よりよく活用していきたいという意識が高まりました。

社内向けのMobility Passport利用説明会でも非常にわかりやすく説明していただけたので、社内掲示板にその動画を掲載し、利用者がいつでも見られるようにしています。

小泉成器株式会社



Mobility Passport導入にあたり、システムへのマスタ登録について必要箇所を丁寧にレクチャーいただき、とても助かりました。利用開始後のフィードバック面談では、車両予約が従業員に定着していないという課題が明確になりました。こちらについて、再度社内での必要性を周知し、オペレーションの徹底を目指しています。

新たな価値提供によるモビリティ社会の発展

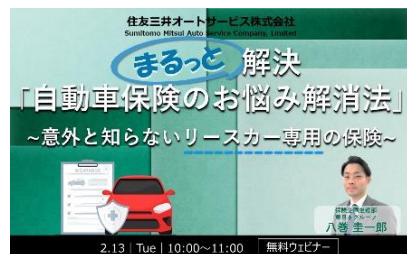
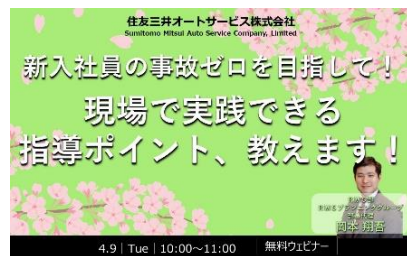
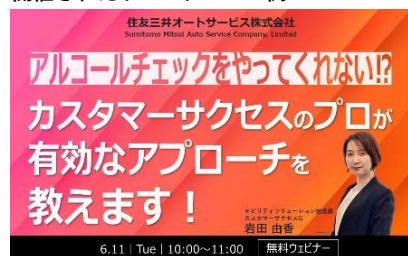


ウェビナーの実施

当社は、安全運転・事故対策、EV、車両管理効率化等、モビリティに関連するさまざまなテーマのウェビナーを開催しており、ステークホルダーの皆さまに対するお役立ち情報の提供に努めています。

2023年度は、毎月2回ほど開催し、約4千名にお申し込みいただきました。

開催されたウェビナーの一例



「JAPAN MOBILITY SHOW 2023」に出展

当社は、2023年10月26日(木)~11月5日(日)に東京ビッグサイトで開催された、第一回ジャパンモビリティショー(以下JMS)にオートリース会社として唯一出展しました。EVとモビリティの加速により、自動車産業では激しいゲームチェンジが起きています。そのような中でJMSへの出展などを通じて、新たなステークホルダーの皆さまと出会い、ともに未来のモビリティ社会の発展に貢献していきたいと考えています。



JMSの様子